



## ボランティア運転者講習

地域の助け合い活動講習関連ダイジェクト版

### 福祉交通の基礎概念

援助観の基本: 日本国憲法の規定する、第 11 条:基本的人権の保障、第 13 条:生命、自由及び幸福追求権、第 25 条、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利などにみることができます。

社会福祉構造改革: 福祉施設に運営の透明性と情報提供、また第三者機関の設置が謳われました。

申請に基づく措置制度から当事者の主体的意思の基づく選択・利用制度への転換の推進。

改革の必要性・基本的方向①サービス利用者と提供者の対等な関係の問題②個人の多様な需要への地域における統合的移動支援③信頼と納得が得られるサービスの質と効率性の確保④幅広い要望に応える多様な主体の参加・活動の促進⑤住民の積極的な参加による豊かな移動支援の形成⑥情報公開等による事業運営の透明性確保。「ICF」参照しましょう。

援助観の目標: 福祉交通の取り組むべき課題、問題と資源をつなぐ援助者及び援助技術、問題を解決するための社会資源、資源の開発・拡充など開発的作業にはソーシャルアクションが必要となります。

援助資源: 近年では、法律に基づかない住民の主体的なサービスも多くなり、それを地域団体・NPO 等による支援など、援助資源の多様化を図る試みも行われています。

価値・倫理: 信用失墜行為の禁止等、日本ソーシャルワーカー協会の倫理要綱の概要○原則○クライアントの関係○機関の関係○行政と社会のとの関係○専門職としての責務等資質の向上の推進。

### 福祉交通をとりまく状況・仕組みと運営

福祉の基本的理念: 共に生きる社会づくりで地域福祉交通推進、の理念施設から地域に ADL から QOL へ。

民間機関・団体: 社会福祉協議会、民間社会福祉施設、NPO、自治会、ボランティア・グループ、当事者団体等がある。地域住民との調整「コウデネイター」を重視しており共同で地域作りを目指す。

援助の原理: バイステックによるケースワークの 7 原則①個別化②意図的な感情の表出③統制された情緒的な関わり④受容⑤非審判的態度⑥自己決定⑦秘密保持。

移動支援の運営: 移動支援サービスの提供主体①行政型供給組織②許認可供給組織②参加型供給組織等、公共性とは、公・私の協働関係を意味しており、行政優位の言葉ではありません。

福祉交通の役割: 交通移動支援は単に個々の人々を支援するという役割に留まらず、人々を差別なく「ノーマルゼイション」同じ社会統合するという援助が重層的に行う社会的役割を担っている。

ボランティア運転者活動論: 岡本栄一活動展開 6 原理①人間尊重の原理②社会的責任性の原理③生活の全体性の原理④主体性の原理⑤地域生活尊重の原理⑥連帯と共生の原理等地域社会作りの推進。

## 地域福祉交通の概念

地域交通のとらえ方: 住民に共通する移動支援の課題、縦割り行政の弊害をみつめ、福祉交通の枠を超えて関連の医療や保健・教育・職業・社会などに至る移動生活の新たな発展の実践を展開する。

福祉交通の組織化活動: 地域福祉移動支援活動の策定は、狭義・広義等福祉交通として用いられる(ボランティア運転者)運転の安全確保、運送法・交通法・接遇全般等の技術を効率的・有効的に構築し、望ましい移動・送迎支援サービス事業の形成することを目標とします。

組織化の課題: 地域福祉交通の組織化、利用者一人ひとりを大切にすし移動支援サービスを目標として、公私が協働して組織化を着手していくことが重要です。

ボランティアとは: 主体的・社会連帯感を育むもの、活動・手段(具体的内容)と目的(目指すもの)明確化す。(社会的制約)という視点からみるとボランティアも利用者も同じ目線・立場に立てる。

ボランティアに期待されるもの: ①社会連帯に基づく自立への支援者の役割②社会関係の社会孤立化防ぐ役割(社会との橋渡し)③社会変革(ソーシャルアクション)の主体者④ボランティア自身の自己実現。このようなボランティアは、「自発的な人」主体性・連帯性・無償性をあげています。福祉交通の運転者は自立を促し連帯的行動を構築します。

NPO(民間非営利組織)の役割: 「参加・活動共生型社会」を目指して主体的に社会的な公益活動を行う民間の非営利活動組織ということができます。

住民参加と身近な福祉交通活動: ○地方自治法の改正=地方分権推進法は、地域コミュニティの活動の活性化の推進や連携強化、「ボランティア運転」活動等の環境整備の推進などが提案された。

○地域福祉交通の推進と住民参加=住民主体が原則、地域福祉交通の推進等行政の政策策定過程に於いて住民参加の移動支援が「自治型地域福祉交通」重要で在ると推察します。

○地域住民の完全参加=地域福祉交通の推進・ノーマライゼーションと安全参加、社会的包摂の視点で「安全参加と平等」の参加型福祉交通を創造していくために、移動・送迎支援「自治型地域福祉交通」が重要と推察されます。通環境整備と支援を希望します。

○身近な地域福祉交通活動のすすめ=「身近な園域」「園域を単位とした移動団体」を組織化の推進。

地域福祉交通と園域づくり:○地域福祉交通を推進刷○地域福祉交通のあゆみ○福祉コミュニティを創造する。地域福祉交通の主体形成○バリアフリーの地域福祉交通のまちづく等々の推進。

コミュニティ・ケア: コミュニティ・ケアの推進とは、居宅の要援護者に対して地域の社会資源や住民参加によって援助する方法論です。地域自治社会サービス法が成立し、コミュニティ・ケアに力点が置かれるようになりました。○政策の変化、在宅ケアのサービス供給を重点化する施策が自治体で採用されました。国民保健サービスおよびコミュニティ・ケア法に於いて、サービス供給組織と利用者との調整するケアマネジメントを重視された。

ボランティア・コーディネーターの役割=法律による社会福祉・自発的社会福祉に分類される、法律によらない自発的社会福祉による社会福祉活動の存在こそ、福祉移動支援の自己改造の原動力として評価されなければなりません。

ボランティア・コーディネーターの機能と役割:○移動支援企画立案機能○関係団体等の連絡調整機能○カウンセリング機能の強化○移動支援グループワーク機能○コミュニティ・ワークの機能○利用者の権利擁護○ソーシャルアクション機能○福祉交通ボランティア運転教育(講習)等

ソーシャル・インクルージョン: 社会的排除の対応への関心・社会的排除とはどんな状態か・実際はどうか・現実の課題を検証し実現に向けて考察してみましょう

福祉交通移動支援の苦情解決: ○苦情への対応の必要性・苦情解決の仕組み・移動支援のリスクについて当日開催された地域の助け合い活動講習テキストを参照して下さい。

福祉交通移動支援の研修:社会福祉基礎構造改革の中で、○「措置から契約へ」自己選択・自己決定・自己責任が明記されています。これからの地域福祉のなかで地域住民の「自治能力」が大切です。○意識の変革の中で、「自立生活を営むことができる力」や「共に生きる力」「協働実践」などの地域共生社会推進を育むことが不可欠です。その為にも福祉交通移動支援研修の受講が重要であることを希望します。

## 福祉交通の援助と方法

- 厚生労働省： 12月14日社会保障審議会で包括ケアシステム「地域の介護体制」維持へ議論。
- 市町村の役割： 地方自治体が住民のために必要な社会資源の整備「日常総合予防事業」移動・送迎支援の責任を担う点が重要であります。移動・送迎支援を担っている団体等に使いやすいサービスの整備という量的・質的な面も重要であります。
- 地域包括支援センターの運営体制と機能： 地域ごとの生活圏域あたり1か所の設置、社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師(地域ケア経験のある看護師)が中心を担っています。
- ソーシャルワークとソーシャルワーカー： ソーシャルワークは、福祉交通の実践を支える価値・知識・技術要素から構成されます。ソーシャルワーカーは、地域の組織化、社会への啓発、新しい社会資源の開発「人・モノ・制度」「連携・信頼・規範」社会組織の変革等重要なしごとです。ソーシャルワークの実践の共通基盤として、中心的な焦点(人間の社会生活への視点及び人間観(生活者としての人間理解)実践を構成する要素(援助者が身につけるべきのもの)等々。ソーシャルワークの体系「直接援助技術」「関節援助技術」「関連援助技術」利用者の援助。
- ケースワークの展開過程： 個別援助技術 ○情報収集とアセスメント○援助計画作成○援助計画実施○評価○終結○追跡調査○報告等々。
- グループワークの援助原則： 集団援助技術○準備期○開始期○作業期○終結・移行期。
- コミュニティワークの援助原則： 地域援助技術○地域主体の原則○資源開発の原則○協働活動の原則、3原則が様々な組織、機関などが目標に向かって、役割分担をして協力していくことが重要です。
- ケアマネジメントの創設： 2006年度からは介護保険制度改正に伴い地域支援事業が創設され、介護予防ケアマネジメント(要介護状態になることの予防・地域ネットワークづくり等)を内容とする包括的支援事業を担う地域包括支援センターが設置されました。
- ケアマネジメント： 移動・送迎サービスの選択を支援するケアマネジメントが求められました。ケアマネジメントとは、○入口○アセスメント○プランニング○ケアプランの実施○モニタリング○終結等々の援助はニーズ優先アプローチが重要な点です。
- ニーズ優先アプローチ： 社会資源の活用の際、利用者のニーズに対応した社会資源を結びつけるようにする方。この反対は、サービス提供側の都合によって提供される社会資源の種類や量等が決められるサービス優先アプローチである。
- リハビリテーションの意義： 理念は、全人間的復権、人間にふさわしい生活の回復を目指し、QOLを最大的に高めることにより、自らの生活における自己決定権の行使、自立生活運動です。分野には、医学的・教育的・職業的・社会的リハビリテーション等があります。